

「2021 年度 事業計画に基づく江南・岐阜エリアの取り組み」

2022 年 1 月 管理者勉強会

取り組み（1）「乗助さん（福祉用具）を活用してトイレに行こう」

取り組み事業所名：ジョイフル各務原

具体的な取り組み方法・進捗状況：

立位保持が可能な利用者様 10 名に、トイレ内の L 字型の手すりと乗助さんを使用した時の立位保持時間の測定と、ご本人へのアンケートを実施した。

確認できた効果、期待される効果：

L 字手すりと乗助さんを使用し立位保持時間を比較すると、前手すりの方が長時間の立位保持が可能だった。又、利用者様アンケートでも、乗助さんの方が立ち上がりやすさを感じられた利用者様が多かった。今後も利用者様の適応を評価し、有効に乗助さんを使用することで、利用者様の自立支援と職員の介助負担軽減がみられた。

介助負担軽減を図っていきたい。

取り組み（2）「ノーリフティングの浸透に関する取り組み」

取り組み事業所名：フラワーコート江南

具体的な取り組み方法・進捗状況：

ノーリフティングを導入して約 10 年経過しているが、腰痛の訴えは未だあるため、介護職、看護職 68 名に対し、ノーリフティングへの意識調査、負担となっている業務、改善していく方法のアンケートを 5 項目に分け実施。結果を踏まえての取り組みを行った。

確認できた効果、期待される効果：

多くの職員が負担を感じているオムツ交換について、リハビリ職員によるベッドの高さ調整、ランジ姿勢について、フロア職員全員に対し、少人数ずつの研修を行った。ベッドを高くすると意識していても、理想よりも低い調整であったり、理想とした高さでも、身長や脚長など個人の体型によって、ベストな高さではなかった事を改めて把握する事ができ、その点も提案しながら研修を行った。3 週間後、オムツ交換の体の負担についてアンケート調査を実施。「変化を感じる」「概ね変化を感じる」「若干変化を感じる」が 100%となった。

取り組み（3）「リスクマネジメントに関する取り組み」

取り組み事業所名：ジョイフル岐阜駅

具体的な取り組み方法・進捗状況：

①ヒヤリハット報告書の活用・職員間申し送りの強化。②事故防止に対する職員の知識・技術スキルアップ。③居室内の安全確保・環境設定の見直し。

確認できた効果、期待される効果：

①ヒヤリハットを入力する職員が約 2 倍に増加した。②施設内で発生した事故を、チームメンバーにてワーク形式で実施したことで、事故防止に対する知識向上に繋がった。③居室内環境整備表を用いたことで、フロアでの居室環境の統一とリスクの有無の確認に繋がった。